	29年原 業概	度事務 要	事業第	注 績評	価表						課名		営管理課	事業No.		390		
	車殺車坐々				これ道	道料金賦課徴収事務			-	会計 業区分	水道事	選集会計 経常	実施区分		継続			
	事務事業名		上下水道和			<u>₹</u>			-	開始		紅吊	<u> </u>		A A A D			
	Ξ	主要区分				記号	計画等名称	,										
	ì ì	¥km2 ≐1 																
	戦略計画																	
根					_			1次飯田市下水道事業経営計画										
拠							市水道事業経営戦略 市下水道事業経営戦略											
							小旦争来赶吕牧! '企業法	<u>"fi</u>										
	法令	令・例⋮	規等															
			T .	 対象	<u> </u>	ロル洋	 の使用者											
Į	事業目	的																
2 車	業内領	কৈ	튀	意図	L	卜小坦	料金の週上な賦	米と帷 美は住	刈収を図る)								
2 事	未四旬	→	取組内容 経費の内容 事業費(千)															
			未納者の納入管理となる債権管理に努めまし				2居所不明者の所在追跡確認により、適正											
						した。 、納入状況の確認と未納者への対応を検												
29年度 取組		討し、滯納の解消に努めました。																
		業務マニュアルを基本に、関係課及びま 緻密な連携を図り、適切な書類審査や確実																
			密な連携を図り、適切な書類番貸や帷美な、 ました。						. 5.11						1			
					適正な	は諸手	続きを依頼し、フ	不正工事の抑	制に									
		努める 平原		-	以降0	D料金	徴収委託業者選別	定のため、契	約書									
		等の権	の検討、選定審査会を開催し、業者選定を行いました。 その他の経費											0				
			じ煙タ (粉値で				る活動量)	単位	平成28	年度	平成29		平成30年度	平成31年	度	平成32年度		
活動指標		指標名 (数値で表せる活動量)						%	実績	<u>実績 実績 実績 実績 </u>		実績		実績				
		水道料金収納率 下水道使用料収納率						%		96.5		97.0						
		長期未納者の滞納額削減						千円		671		651						
		月例定例会の開催 次期業務委託者検討会議								12 12		12 12						
		O CONTROL IN						П										
			予!	算額	頁 0													
		決算		算額														
	F度 算	l i			庫支出金 0 支出金 0		0											
(千円)		財源の		地方債 その他 一般財源			0											
							0											
3 事	務事	 事業を構成		100 1110	****		<u> </u>											
番	슰	款	項	目	大事	中事	予算額 決算額 中事業名(科目名称)											
<u>号</u>	計				業	業							,					
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
0																		
7	L																	
		・長期未納者の毎月の収納状況の確認を行いました。人数的には1名の減少でしたが、滞納額は651千円減少となりました。世界が続いて円以下の土地表が「したではっており」20万年中には進地が観光される見込みです。												なりました。				
振返	り課題	認識	また滞納額が2万円以下の未納者が5人まで減っており、30年度中には滞納が解消される見込みです。 ・30年10月以降の料金徴収委託業者の選定については、契約書・仕様書の見直しを行い、候補者を決定しました。これま										た。これまで					
							対する取組状況											
上記の課題解決			・長期未納者については、引き続き、経済状況等に応じて、個別に具体的な対応方法を検討します。															
のた	めの有	効策	・10月以降の料金徴収委託業者に対しては、定期的に進捗状況を確認するシステムを検討します。															
次年	度に向	けて					独頻度を上げて納									(新加土は 4 円		
の取り組み			・料金徴収委託業者に対しては、9月末までの準備期間中に業務マニュアルの整備を行います。また業務管理や評価方法の 築を行います。										/計Ш力法の構					